

令和6年度 全国家庭教育支援研究協議会

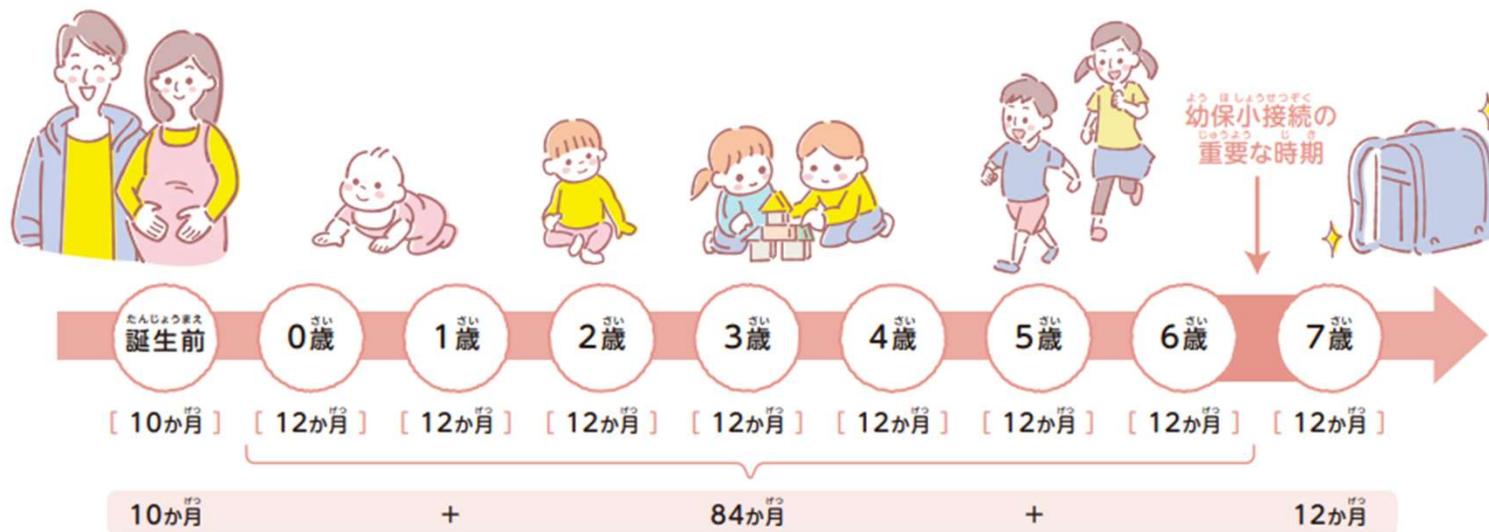
「はじめの100か月の育ちビジョン」について

こどもまんなか
こども家庭庁

成育局 成育基盤企画課 指針係



『はじめの100か月』とは？



- 『はじめの100か月』は、生涯にわたるウェルビーイング(身体・心・環境(社会)の面での幸せ)の向上に繋がっていく、特に大切な時期です。
- この時期に大切にしたい考え方を、5つのビジョンとしてまとめています。

※誕生月によって変動あり。94~106か月⇒概ね100か月。

「はじめの100か月の育ちビジョン」はなぜ必要？

「はじめの100か月」は、人生を幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすため、特に大切な時期です。
しかし、すべてのこどもがひとしく、健やかに育つことができるのかについては、課題があります。



生まれるとき、 園などに入るとき、 小学校に入るときや、 家庭、 園、 こどもについての関係機関、 地域

などの間に「切れ目」が多いため、

- ✓ 社会全体で幼児期までのこどもの育ちを支える共通した考え方を広め、
- ✓ 「はじめの100か月の育ちビジョン」に関連する取組を力強く進めていく、道しるべが必要です。

幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン (はじめの100か月の育ちビジョン) 概要

令和5年12月22日 閣議決定

はじめの100か月の育ちビジョンを策定し全ての人と共有する意義

幼児期までこそ、生涯にわたるウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に幸せな状態）の向上にとって最重要

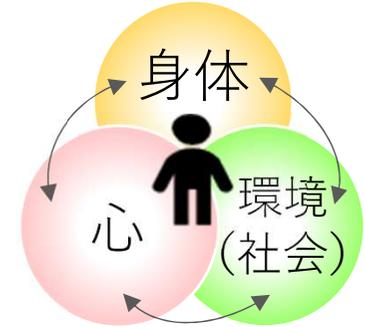
✓誰一人取り残さないひとしい育ちの保障に向けては課題あり

※児童虐待による死亡事例の約半数が0～2歳/就園していないこどもは、家庭環境により、他のこどもや大人、社会や自然等に触れる機会が左右される

✓誕生・就園・就学の前後や、家庭・園・関係機関・地域等の環境間に切れ目が多い

⇒社会全体の認識共有×関連施策の強力な推進のための羅針盤が必要

全てのこどもの生涯にわたる
身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）
な観点での包括的な幸福



⇒全ての人のウェルビーイング向上にもつながる

目的 全てのこどもの誕生前から幼児期までの
「はじめの100か月」から生涯にわたるウェルビーイングの向上

こども基本法の理念にのっとり整理した5つのビジョン

1 こどもの権利と尊厳を守る

⇒こども基本法にのっとり育ちの質を保障

- ✓乳幼児は生まれながらにして権利の主体
- ✓生命や生活を保障すること
- ✓乳幼児の思いや願いの尊重

2 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める

⇒乳幼児の育ちには「アタッチメント（愛着）」の形成と豊かな「遊びと体験」が不可欠



「アタッチメント（愛着）」＜安心＞
不安な時などに身近なおとなが寄り添うことや、
安心感をもたらす経験の繰り返しにより、安心の
土台を獲得

豊かな「遊びと体験」＜挑戦＞
多様なこどもやおとな、モノ・自然・絵本・場所など身近
なものとの出会い・関わりにより、興味・関心に合わせた
「遊びと体験」を保障することで、挑戦を応援

3 「こどもの誕生前」から 切れ目なく育ちを支える

⇒育ちに必要環境を切れ目なく構築し、
次代を支える循環を創出

- ✓誕生の準備期から支える
- ✓幼児期と学童期以降の接続
- ✓学童期から乳幼児と関わる機会

4 保護者・養育者のウェルビーイング と成長の支援・応援をする

⇒こどもに最も近い存在をきめ細かに支援

- ✓支援・応援を受けることを当たり前
- ✓全ての保護者・養育者とつながること
- ✓性別にかかわらず保護者・養育者が
共育ち

5 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

⇒社会の情勢変化を踏まえ、こどもの
育ちを支える工夫が必要

- ✓「こどもまんなかチャート」の視点
(様々な立場の人がこどもの育ちを応援)
- ✓こどもも含め環境や社会をつくる
- ✓地域における専門職連携やコーディネーター
の役割も重要



【「はじめの100か月」とは】

本ビジョンを全ての人と共有するためのキーワードとして、母親の
妊娠期から幼保小接続の重要な時期（いわゆる5歳児～小1）まで
がおおむね94～106か月であり、これらの重要な時期に着目

はじめの100か月の育ちビジョンに基づく施策の推進

- ✓ こども大綱の下に策定する「こどもまんなか実行計画」の施策へ反映
- ✓ 全ての人の具体的行動を促進するための取組を含め、こども家庭庁が司令塔となり、具体策を一体的・総合的に推進

ビジョン
01

こどもの権利と尊厳を守る

すべてのこどもに権利があります。
こども一人ひとりの思いや願いを大切にしていきます。

- こどもは生まれながらに権利を持っています。
すべてのこどもの権利を大切にしていきます。
- 置かれた環境にかかわらず、全ての乳幼児の生命や生活を保障します。
- 乳幼児の思いや願いを受けとめ、その主体性を大事にしています。

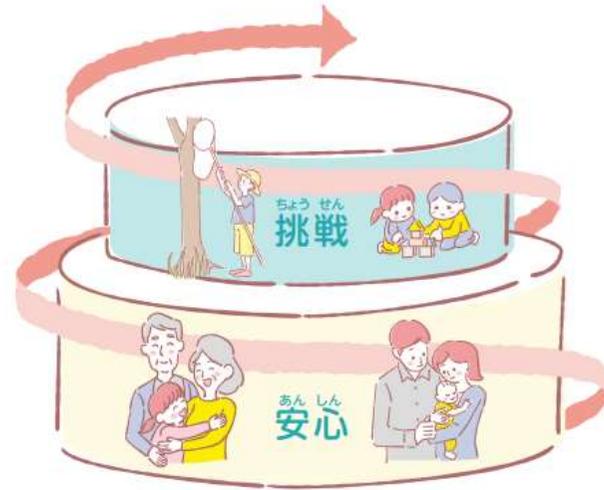


ビジョン
02

「安心と挑戦の循環」を通して こどものウェルビーイングを高める

こどもは、おとなとの「アタッチメント(愛着)」「安心」を土台として、
「遊びと体験」(挑戦)を繰り返しながら成長していきます。

- こどもは、不安な時などに身近なおとなが寄り添い、
気持ちを受けとめてもらう経験を繰り返すことで、
「アタッチメント(愛着)」「安心」を得られ、自分や周りの人を信頼していきます。
- この「安心」を土台として、様々なこどもやおとなと出会い、
モノ・自然・絵本・場所などに関わる「遊びと体験」<挑戦>を通して、
こどもは自分の世界を広げていきます。



ビジョン
03

「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える

こどもの成長に応じた環境の変化が育ちの「切れ目」を生まないように、
全ての関係者で連携して育ちを支えることが重要です。

- 子どもの誕生を迎え入れる準備期間である妊娠期から始まり、『はじめの100か月』を通して、切れ目なくこどもの育ちを支えていきます。
- 幼児期までの育ちが学童期以降の学びに繋がるようにしていきます。
- こどもの時から乳幼児と触れ合う経験を通して、支えられてきたこどもが次世代を支える側になる循環をつくっていきます。



ビジョン
04

保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする

こどもに最も近い存在の保護者・養育者がこどもとともに育つことができるように、様々な人や機会を支えていきます。

- 保護者・養育者が、子育てを自分だけで背負わないよう、支えられることを当たり前にしていきます。
- 全ての保護者・養育者が必要な支援・応援に繋がることができるよう、あらゆる機会をいかして接点をつくります。
- 『はじめの100か月』は、保護者・養育者にとっても子育ての最初の時期だからこそ、信頼できる情報を届けるとともに専門職が伴走していきます。



ビジョン
05

こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

こどもや子育てに直接関わりがある人も、ない人も、
全ての人がこどもの育ちにとって大切な役割を担っています。

- こどもにとっては、周りの全ての人々が育ちを支え、応援してくれる存在です。
- 地域において、様々な人が関わり合い、繋がっていくことで、こどもの育ちを支える環境や社会の厚みが増していきます。
- 社会の全ての人々がそれぞれの立場でこどもの育ちを支え、応援する『こどもまんなか社会』を目指していきます。



「こどもまんなか実行計画2024」における「はじめの100か月の育ちビジョン」の関連施策 ポイント

「こどもまんなか実行計画2024」の施策のうち、「はじめの100か月」の育ちに関する主な取組をとりまとめ、「はじめの100か月の育ちビジョン」の趣旨を反映。

課題	対応の方向性と主な施策	目指す姿 全てのこどもの「はじめの100か月」から 生涯のウェルビーイング向上を実現
<p>① 全てのこどもの権利と尊厳が守られていない。 (例：児童虐待による死亡事例の約半数が0～2歳等)</p>	<p>こどもの権利と尊厳を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 社会全体にこどもの権利等を普及啓発。 (「はじめの100か月の育ちビジョン」の広報など) ✓ 児童虐待の未然防止や対応を強化。 (こども家庭センターの体制整備や、児童相談所の体制強化など) 	
<p>② こどもが様々な人や環境に触れる機会が家庭状況に左右。 (例：0～2歳の約6割は就園していない+少子化の影響等)</p>	<p>「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 未就園児を含めた全ての乳幼児に対し、「アタッチメント（愛着）」の形成や、豊かな「遊びと体験」の機会等を充実。 (「こども誰でも通園制度」の創設など) ✓ 「アタッチメント（愛着）」や「遊びと体験」が成長に与える影響等に関する科学的知見を調査・普及。 (「はじめの100か月」の育ちに関する調査研究の実施など) 	
<p>③ こどもを取り巻く環境が大きく変わる時に育ちの切れ目が発生。 (例：家庭・園・関係機関・地域などの関係者間や、誕生・就園・就学前後の切れ目等)</p>	<p>「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 妊娠から出産・子育てまで切れ目ない伴走型の相談支援や、幼児期から学童期への切れ目ない育ちの保障を推進。 (出産・子育て応援交付金事業や、放課後児童対策の推進など) ✓ 地域において、療育・保育などこどもの育ちについての関係機関の連携を強化。(児童発達支援センターの機能強化など) 	
<p>④ こどもに最も近い存在の保護者・養育者が地域で孤立。 (例：地縁・血縁の希薄化など、子育ての環境が大きく変化等)</p>	<p>保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 全ての妊産婦や子育て世帯に必要な支援を届ける。 (産前産後の支援や乳幼児健診等の母子保健施策の推進など) ✓ 保護者等の相談・交流・育ち合いや学びの機会を確保。 (地域子育て支援拠点事業や、家庭教育支援の推進など) 	
<p>⑤ 社会全体でこどもの育ちを支える気運を醸成できていない。 (例：子育て当事者だけでなく全ての人がこどもの育ちに影響を与え得るが、その認識を共有できていない等)</p>	<p>こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ こどもや子育てに優しい社会に向けた気運を醸成するための取組を推進。(「こどもまんなかアクション」や「健やか親子21」と連携した「はじめの100か月の育ちビジョン」の広報など) ✓ 高齢者や小中高生など、地域で乳幼児の育ちを支える人材の裾野を拡大。(地域コーディネーターの養成や、乳幼児触れ合い体験の推進など) 	

※はじめの100か月：母親の妊娠期から小学校1年生までの重要な時期が概ね100か月であることに着目したキーワード。
※ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的（バイオサイコソーシャル）な面で幸せな状態。

「はじめての100か月の育ちビジョン」地域コーディネーター養成事業 実施スキーム（イメージ）

昨今の地縁・血縁の希薄化や少子化、
子育て世帯の孤立化など、
こどもや子育てを取り巻く環境が
大きく変化している中で、
特に「はじめての100か月」の重要な時期に、
子育て世帯と地域の人々をつなぐ取組が必要

こどもまんなか
こども家庭庁

委託※

※こども家庭庁に別途委託された全体統括
事業者が地域コーディネーター研修など
を実施

モデル地域（団体）
（自治体・民間団体など）

選出

妊婦 乳幼児
子育て世帯

地域コーディネーター
（若者・高齢者、NPO職員など）

多様な地域の人々
（小中高生・大学生、高齢者、その他地域住民）



イベント実施などを通じて
交流の機会をコーディネート



「はじめての100か月」の子育て世帯（妊婦や乳幼児とその保護者）と地域の人々をつなぎ、
地域全体で「はじめての100か月」の育ちを応援する活動事例を創出

みんなで大切に
『はじめての100か月』

「はじめの100か月の育ちビジョン」地域コーディネーター養成事業 令和6年度のモデル地域（団体）

No.	モデル団体	主な活動拠点	主な活動内容(予定)
1	一般社団法人 はぐネット	石川県野々市市	地元地域の商店街に「こども服のクローゼット」を常設店舗として設置するとともに、 <u>公民館や民間施設におけるこども服の交換イベントを開催し、乳幼児の親子と地域住民の交流を図る。</u>
2	学校法人 柿沼学園	埼玉県久喜市	<u>地元地域の幼児教育・保育施設や子育て支援センター、学校、学生サークル、自治会などと連携し、ビジョンを周知するとともに乳幼児の親子と地域住民が交流するイベントや講習会などを開催する。</u>
3	スリール株式会社	東京都新宿区	<u>プレママ・プレパパが先輩の子育て家庭と関わる機会や、学校・大学の授業で乳幼児の親子と触れ合う時間を設け、こども・若者が多様な家族のあり方を学び、子育てを前向きに捉えられるようにすることを促すほか、地域の企業や高齢者と乳幼児の親子との交流を図る。</u>
4	特定非営利活動法人 アンジュ・ママン	大分県豊後高田市	<u>地域子育て支援拠点でボランティアを受け入れるとともに、小中高生の乳幼児触れ合い体験や、地域イベントにこどもが参加しやすいような配慮などを行うことで、乳幼児の親子と地域住民の関わりを増やす。</u>
5	特定非営利活動法人 棚田LOVERS	兵庫県姫路市、市川町	<u>地元地域の里山・棚田・畑・古民家・商店街を活用し、乳幼児の親子と地域の大学生や会社員・高齢者が交流する機会を設け、農作業や自然・料理体験、絵本の読み聞かせ、子育て講習などを実施する。</u>
6	特定非営利活動法人 ながいく	愛知県長久手市	<u>地元地域の小中高生や大学生、高齢者、外国の方、障害のある方など、地域住民と乳幼児の親子が関わる子育てサロンや託児ボランティア、その他イベントを開催し、多世代の交流を図る。</u>
7	特定非営利活動法人 新座子育てネットワーク	埼玉県新座市	<u>地元地域の小中高生・大学生向けに授業で乳幼児と触れ合う機会を提供するほか、子育て支援拠点のプレママ・プレパパやファミサポ援助会員、町内会の高齢者などが乳幼児の親子と関わる機会を創出する。</u>
8	特定非営利活動法人 びーのびーの	神奈川県横浜市	<u>「産前産後のおうち」で妊婦や乳児の親子と高齢者が関わる機会や、小中高生が授業で乳幼児と触れ合う体験、地域のボランティアがこども食堂でこどもと関わる機会などを設け、交流を図るとともに、子育て家庭の生活圏の商店などに対する子育てへの理解促進を図る。</u>
9	まちの研究所株式会社	東京都渋谷区	<u>「駒テラス西参道」のまちづくり施設において、地域の資源や環境を利用し、プレママ・プレパパや子育て世帯、商店街や会社員、高齢者などの地域住民と乳幼児の親子が関わるイベントを開催するなど、まちの人が主体的に協働しあう多世代交流を通じた地域活性化を図る。</u>
10	有限会社 ミューズプランニング	熊本県熊本市	<u>地元地域の育児サークルと、学校や老人会、企業や店舗などをつなぎ、乳幼児の親子と地域住民が交流するイベントやワークショップ、ボランティア、体験活動などを実施する。</u>

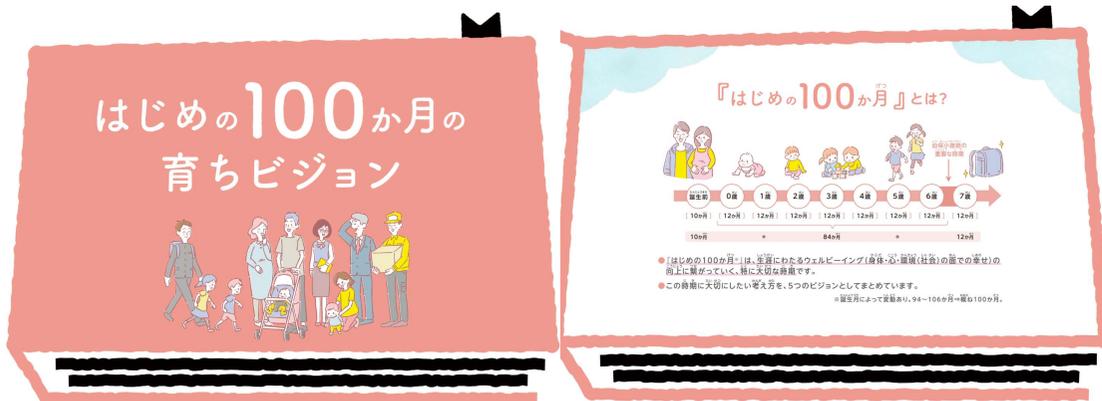
※コーディネーター研修の実施やモデル事例集のとりまとめなどを行う全体統括事業者は、「特定非営利活動法人 全国認定こども園協会」に委託。

「はじめての100か月の育ちビジョン」の広報（取組状況）

- ✓ 令和5年12月に新たに策定された「はじめての100か月の育ちビジョン」を社会全体へ広く周知するため、ビジョンの内容をわかりやすくまとめたパンフレットや動画等を作成し、多様な広報の機会を活かしてPR。

▼パンフレット（こども家庭庁HP）

[「はじめての100か月の育ちビジョン」パンフレット](#)



▼紹介動画（3分）（こども家庭庁HP・YouTube）

[「はじめての100か月の育ちビジョン」紹介動画](#)



▼ショート動画（6秒）（こども家庭庁HP・YouTube）

動画①：[『はじめての100か月』が生涯の幸せにつながっていくって、知っていますか？](#)

動画②：[子どもには、いろいろな人やモノとの出会いが大切なんです。](#)

動画③：[『こどもまんなか』を一緒に目指していきませんか？](#)



▼杉浦太陽・村上佳菜子 日曜まなびより（政府広報HP）

[政府広報ラジオ「日曜まなびより」](#)



▼ベネッセ「たまひよ」とのコラボ

[0～7・8才は脳発達の重要な時期！「はじめての100か月」が生涯の幸せを育てるって本当？こども家庭庁に聞きました<PR> | たまひよ \(benesse.ne.jp\)](#)



▼子育て世帯向けメディア「ぎゅってWeb」とのコラボ

[こどもたちが健やかに育つために大切にしてほしい「はじめての100か月の育ちビジョン」とは？ | ぎゅってWeb \(gyutte.jp\)](#)



<[「はじめての100か月の育ちビジョン」HP（「はじめての100か月」で検索）](#)>

https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi



『はじめの100か月』は、生涯の幸せを育てます。
みんなで大切に、『はじめの100か月』。

